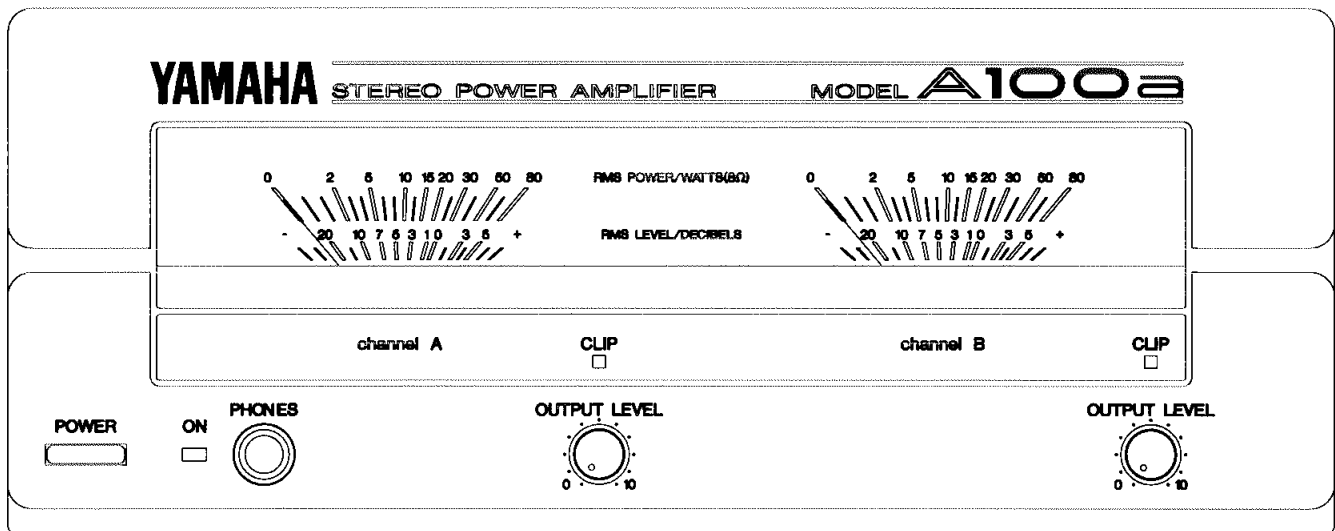




# POWER AMPLIFIER

# A100a




取扱説明書



# ! 安全上のご注意 —安全にお使いいただくため—

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。





**絵表示** この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**絵表示の例**  
 : 注意(危険・警告を含む)を促す事項  
 : 決しておこなってはいけない禁止事項  
 : 必ずおこなっていただく強制事項

**警告** この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置されるとき	
<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器は<b>AC100V</b>専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> <li>● この機器に<b>水</b>が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用はとくにご注意ください。</li> <li>● <b>電源コード</b>の上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かず重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることのないよう、十分にご注意ください。</li> </ul> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>雷</b>が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul> </div> <p style="font-size: small; margin-bottom: 5px;">プラグをコンセントから抜く</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</li> </ul> </div> <p style="font-size: small; margin-bottom: 5px;">接触禁止</p>
使用中に異常が発生したとき	
<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>電源コード</b>を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。</li> <li>● この機器のACアウトレットが供給できる電力は200Wまでです。接続する装置の消費電力の合計がそれを越えないようにしてください。越えた状態で使用すると、火災の原因になります。</li> </ul> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 断線・芯線の露出など、<b>電源コード</b>が傷んだら、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> </ul> </div>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の<b>裏ぶた</b>や<b>カバー</b>は絶対に外さないでください。感電の原因になります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、販売店にご依頼ください。</li> <li>● この機器を<b>改造</b>しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">分解禁止</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを<b>破損</b>した場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> </ul> </div> <p style="font-size: small; margin-bottom: 5px;">プラグをコンセントから抜く</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>煙</b>が出る、<b>変なにおい</b>や<b>音</b>がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。</li> </ul> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>煙</b>が出る、<b>変なにおい</b>や<b>音</b>がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。</li> </ul> </div> <p style="font-size: small; margin-bottom: 5px;">プラグをコンセントから抜く</p>

**⚠ 注意** この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき	ご使用になるとき
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 火災・感電やけがなどを避けるため、つぎのような場所には置かないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所。</li> <li>・ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。</li> <li>・ 窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。</li> <li>・ 湿気やほこりの多い場所。</li> </ul> </li> <li>● <b>電源プラグ</b>を抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽器・オーディオ機器・スピーカーなどを接続する場合は、接続するすべての機器の<b>電源</b>を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。</li> <li>● <b>電源</b>を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</li> <li>● スピーカー端子とスピーカーの接続には、<b>スピーカー接続専用のケーブル</b>のみをお使いください。それ以外のケーブルを使うと火災の原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>濡れた手</b>で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> <li>● この機器の通風孔をふさがないようにください。内部の温度上昇を防ぐため、この機器のケースの後上底部には通風孔があけてあります。通風孔がふさがると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。とくに、次のような使い方は避けてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。</li> <li>・ 本箱や押し入れなど、専用ラック以外の風通しの悪い狭いところに押し込める。</li> <li>・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。</li> </ul> </li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● このアンプはスピーカー駆動以外の用途には用いないでください。</li> </ul>
<b>お手入れについて</b>	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器のSPEAKERS端子に接続するフォンプラグは、接続の前に接触部をクリーニングしてください。汚れていると、熱を持つことがあります。</li> </ul>	

**！ 使用上のご注意** —正しくお使いいただくため—

**携帯電話への影響について**

◆ この機器のすぐ近くで携帯電話などを使用すると、機器にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で電話をしてください。

## ごあいさつ

このたびは、ヤマハ・パワーアンプA100aをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

A100aは、大型のVUメーターを装備した、50 W + 50 W (8 Ω負荷) のハイパワーアンプです。

A100aの性能をフルに発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願いいたします。

## 目次

特長	4
各部の機能と名称	5
仕様	7
寸法図	8
ブロックダイアグラム	9
システムセッティング例	10

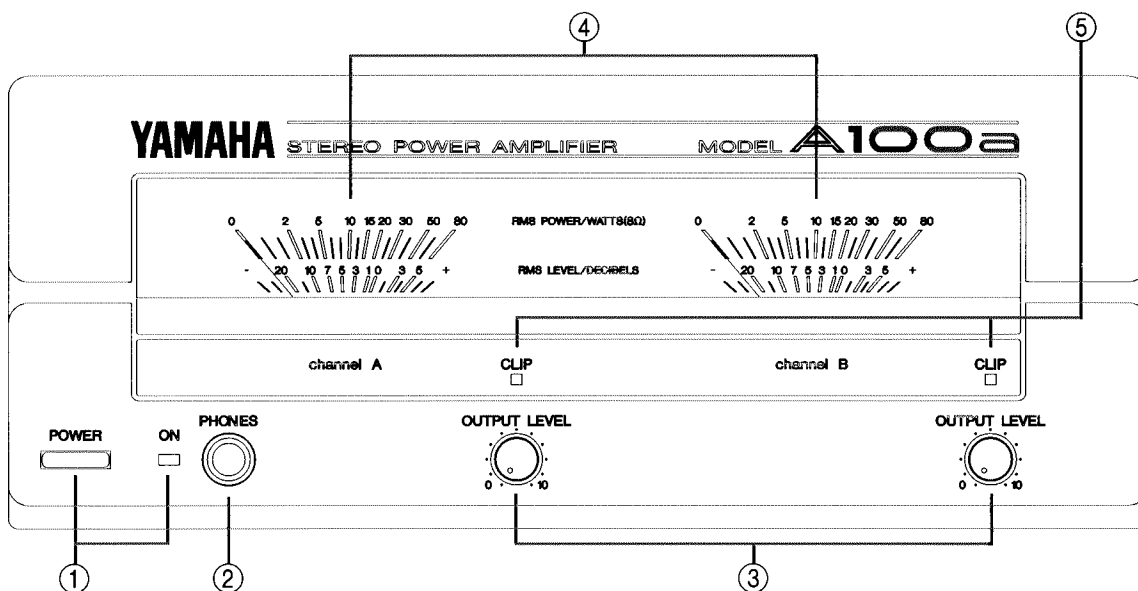
## 特長

---

- 50 W + 50 W (8 Ω負荷) のハイパワーです。
- レベルメーターには、高品位の大型VUメーターを採用しています。
- 過大入力を表示するクリップインジケーターを装備しています。(独立)
- PHONESジャックを装備していますので、ステレオヘッドフォンでモニターできます。
- コンパクトで軽量のハーフラック2Uサイズなので、スペースを取らず、持ち運びにも便利です。

# 各部の機能と名称

## フロントパネル



### ① 電源スイッチ (POWER) & インジケータ

電源をON (■) にすると、インジケータとメーターランプが点灯します。

なお、電源をON (■) にした後の数秒間は、保護回路が働いているため、スピーカーから音は出ません。

### ② ヘッドフォンジャック (PHONES)

ステレオヘッドフォンをこのジャックに接続し、モニターすることができます。

ステレオヘッドフォンを接続しなすと、スピーカーからの音は出なくなります。

### ③ アウトプットレベル (OUTPUT LEVEL)

入力レベル (出力レベル) を調整するつまみです。

つまみを“10”方向に回すほど出力レベルが大きくなります。

※通常は、“10”の位置にセットし、接続するミキサー、プリアンプなどのボリュームコントロールつまみで、音量を調整します。

### ④ 出力レベルメーター

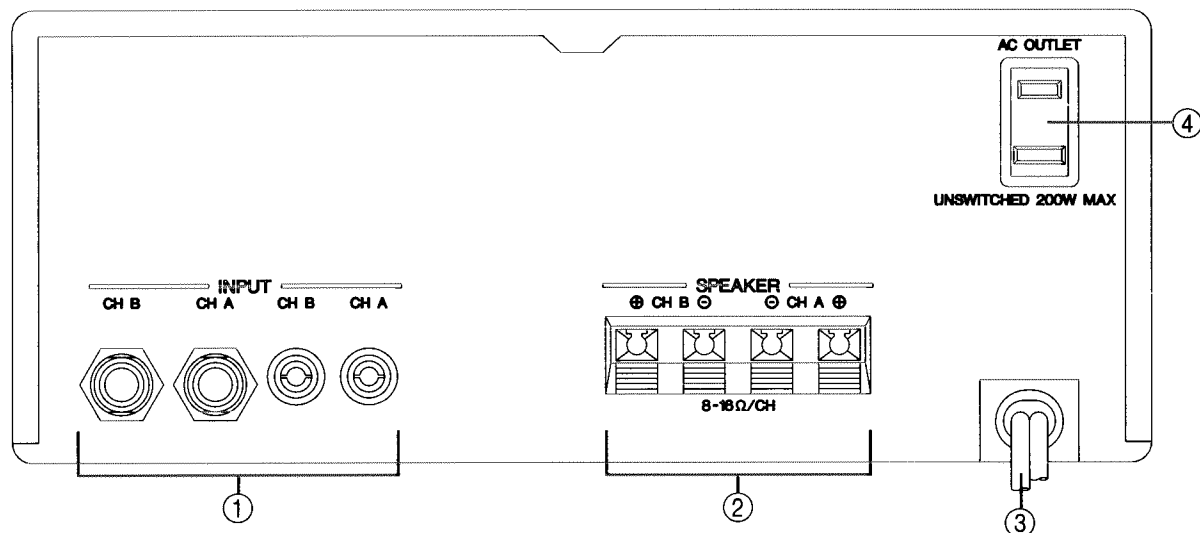
出力レベルを表示するVU式レベルメーターです。

スピーカーのインピーダンスが8 Ωの場合の出力ワットageと、25 W/8 Ωを0 dBとした対数目盛りが表示されています。

### ⑤ クリップインジケータ (CLIP)

本機に過大入力がかかったとき、点灯するインジケータです。

## リアパネル



### ① 入力ジャック (INPUT CH A, B)

ミキサーや、プリアンプなどの信号を入力するジャックです。

接続する機器に合わせてフォンジャックまたはピンジャック側へ接続してください。

同時に接続した場合は、フォンジャック側の入力信号を優先します。

### ② スピーカー端子 (SPEAKER CH A, B)

スピーカーを接続する端子です。

CH A、CH Bそれぞれの端子にスピーカーを接続します。接続の際には必ずアンプとスピーカーの極性 (+)、(-) を合わせてください。

この場合の適合インピーダンスは、8 Ω～16 Ωです。

7 Ω以下のスピーカーを接続したり、8 Ωのスピーカーでもパラ接続をすると、発熱するため故障の原因になります。

スピーカーコードの接続の際 (+)、(-) の極性を確認し、端子のレバーを指先で押しながらコードの芯線を端子の穴に差し込みます。

### ③ 電源コード

AC100 V 50/60 Hzのコンセントにプラグを接続します。

### ④ AC OUTLET

外部機器のACプラグを接続できます。

本機の電源スイッチが入ってなくても外部機器に電源が供給されます。

消費電力が200 Wを超えないようにしてください。

# 仕様

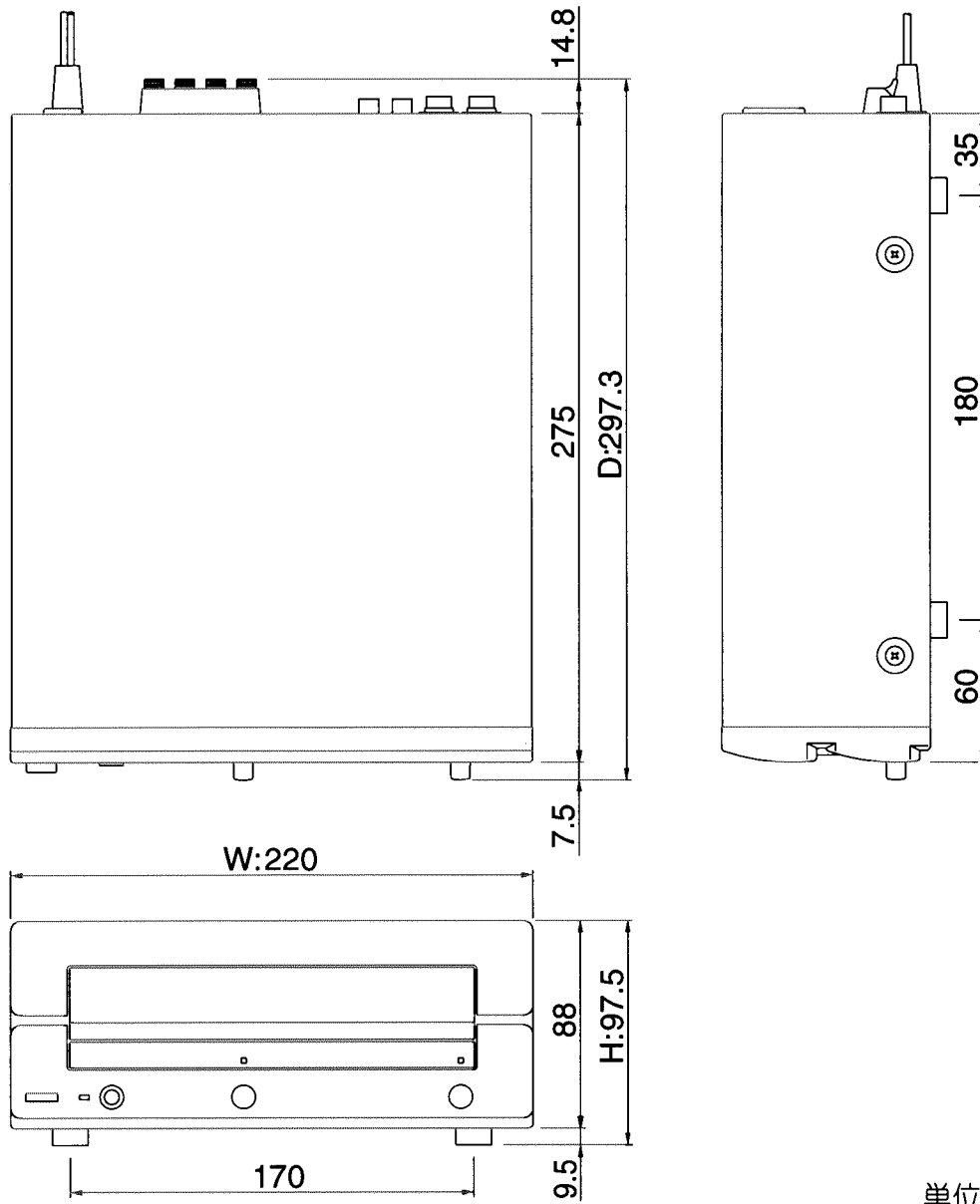
形式	: 2chステレオパワーアンプ	全高調波歪率 (THD)	: 0.02 % (1 kHz, 25 W/8 Ω)
入力端子 (CH A, B)	: ピンジャック × 1/ch, フォンジャック × 1/ch	混変調歪率	: 0.2 % (70 Hz : 7 kHz = 4 : 1, 25 W/8 Ω)
出力端子 (CH A, B)	: 4Pプッシュターミナル (スピーカー出力)	チャンネル セパレーション	: 70 dB (1 kHz), 60 dB (20 Hz~10 kHz)
ファンクション	: POWERスイッチ、 OUTPUT LEVELコントロール、 レベルメーター、 CLIPインジケーター	S/N比	: 107 dB (入力ショート, IHF A)
定格出力 (20 Hz~20 kHz)	: 50 W + 50 W (1 % THD, 8 Ω)	残留ノイズ	: $\sim$ 80 dB (Vol. Min, IHF A)
入力感度	: $\sim$ 10 dB (245 mV), (1 kHz, 50W/8 Ω, Vol. Max)	スルーレート	: 10V/ $\mu$ sec (Full Swing, 8 Ω)
電圧利得	: 38.2 dB (1 kHz, 入力 $\sim$ 10 dB)	ダンピング ファクター	: 70以上 (1 kHz, 8 Ω), 60以上 (20 Hz~20 kHz, 8 Ω)
周波数特定	: 0 $\pm$ 0.5 dB (20 Hz~20 kHz)	入力インピーダンス	: 8 kΩ
パワーバンド幅	: 10 Hz~40 kHz (0.2 % THD, 25 W/8 Ω)	定格電源	: AC100 V 50/60 Hz
		定格消費電力	: 85 W
		寸法 (W×H×D)	: 220 (W) × 97.5 (H) × 297.3 (D) mm
		重量	: 4.6 kg

※0 dB = 0.775 Vrms

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※この製品は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

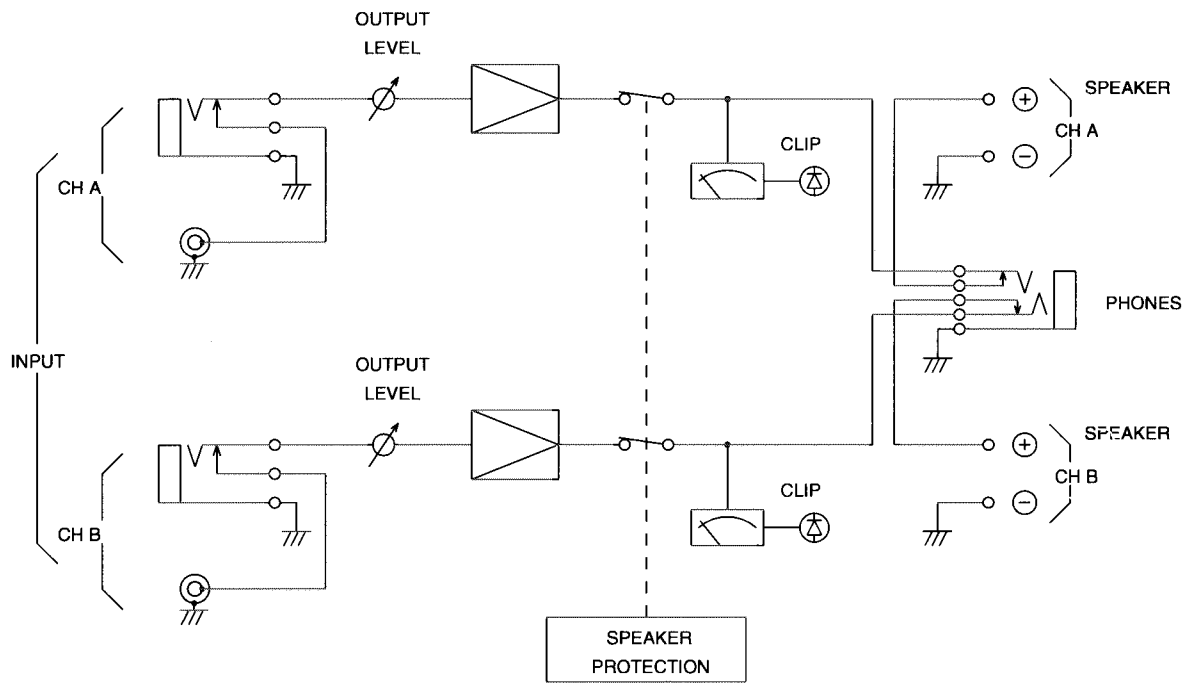
# 寸法図



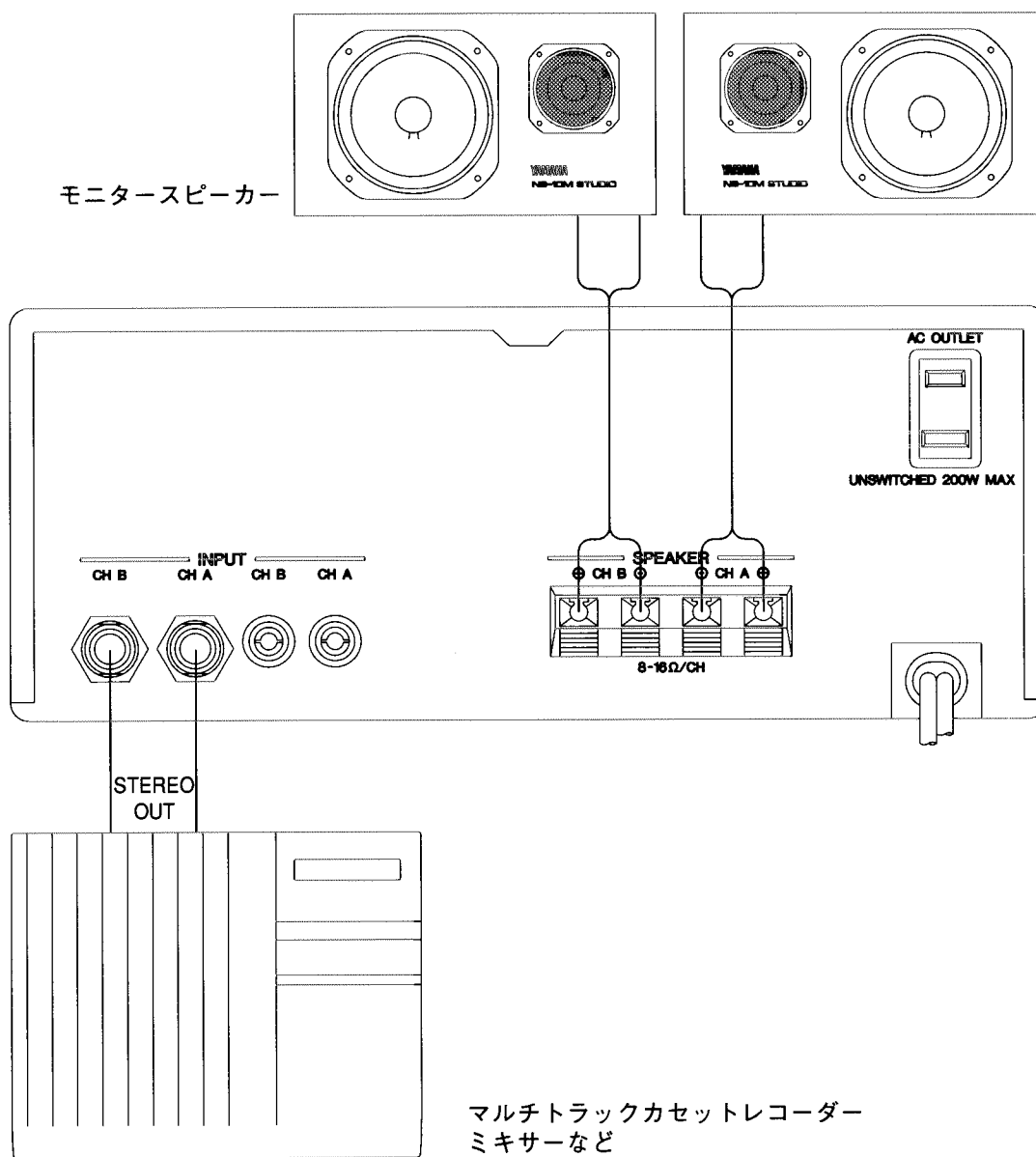
単位：mm



# ブロックダイアグラム



# システムセッティング例



# サービスについて

## ■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店がおお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

## ■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

## ■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

## ■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談は下記のおお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

## ●お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

### ◆デジタルオーディオ製品

ヤマハ・デジタルオーディオ・インフォメーションセンター  
Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-5085  
E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

### ◆一般PA製品

#### 音響システム事業部

北海道営業所	☎ 011-512-6106	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台営業所	☎ 022-222-6214	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
東京事業所	☎ 03-5488-5480	〒108-8568	東京都港区高輪2丁目17-11
名古屋営業所	☎ 052-232-5744	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
大阪事業所	☎ 06-6647-8359	〒556-0011	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本ニッセイビル
九州営業所	☎ 092-412-5556	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
営業部	☎ 053-460-2455	〒430-8650	浜松市中沢町10-1

## ●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスセンター	☎ 011-512-6108	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスセンター	☎ 022-236-0249	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 044-434-3100	〒211-0025	川崎市中原区木月1184
浜松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
広島サービスセンター	☎ 082-874-3787	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	☎ 092-472-2134	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/カスタマーサービス部	☎ 053-465-1158	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。  
※ 1999年11月1日現在